

体にいいことしてますか？

スポーツNOW

このコーナーでは、気軽に楽しめる
スポーツ・体力づくりの情報などを
ご紹介します。

スポーツ振興課（内線276）

加藤健児さん（泉町） 県民栄誉賞を受賞

加藤健児さん（泉町）が、平成18年度県民栄誉賞を受賞されました。この賞は、全国レベルや国際レベルの競技会、コンクールなどで優秀な成績を収めた県在住または、出身の個人、県内の団体に授与されます。第61回国民体育大会の空手道競技成年男子組手（団体戦）に県代表として出場し、県内初となる全国優勝を果たし、その功績が認められての受賞となりました。



加藤さんは、小学3年生から空手道を始められ、全日本空手道連盟の島崎勇さんの指導の下、中学・高校を通じて、めきめきと頭角を現しました。大学に進学後は、全国レベルの大会に多数出場して技を極め、国体出場は、6回を数えます。現在も、週に2～3回は道場に通り、けいこを積んでいます。取材日は、多治見警察署内の道場で、小学生から一般の方まで約20人と一緒に練習に励んでいます。



真剣な表情でけいこに励む加藤さん

した。礼節を重んじる武道は、個人の力量を問わず、誰もが一緒に楽しむことができ、日本人の心に響くものがあります。

平成24年には、岐阜県での国民体育大会の開催が決まっています。加藤選手のような全国で活躍する選手が、地元から多数輩出されることを願っています。



（取材：スポーツ振興課・山田鏡一）

空手道を考える



空手道は、琉球より本土に伝来して、1世紀余り日本武道の一つとして、発展してきました。柔道・剣道・弓道などと同じ「道」という字が物語るように、単に勝敗を争うだけでなく、技術を身に付け生かすために「学び」「修める」。相手を打ち負かす格闘技にあつて、礼を重んじ、試合に勝ってもおごらず、相手に感謝し、心を引き締め謙虚に振る舞うことを教えています。勝っても負けても自分を見失わないという教えは、人を人として育てる教育につながります。

空手道は、社会規範や公序良俗を支えた日本人の伝統的精神文化ともいえます。武道全般がその技術と精神を学び、人間形成を目指すように、空手道も精神と肉体の調和を図る人間形成の場であります。殺伐とした現世相に、空手道の精神を取り戻したいと願います。

★陶史の森の催しは、お一人でも参加できます。ただし、低学年児童は、親子でご参加ください。

陶史の森は、自然特別保護区になっています。山野草やミズゴケなどを絶対に採らないでください。

お願い

・内容 春の野鳥観察
・対象 参加自由

（雨天中止）

日時 4月22日（日）
午前9時～11時30分

●バードウォッチング
日時 4月22日（日）

・対象 参加自由

・内容 春の草花やシデコブシの観察

（雨天中止）

日時 4月15日（日）
午前9時～11時30分

●自然教室

日時 4月15日（日）

※事前に申し込みが必要

・対象 小学生・家族・一般

・内容 ギフチヨウの生態を観察

・対象 小学生・家族・一般

・内容 ギフチヨウの生態を観察

（雨天実施）

日時 4月8日（日）
午前9時～11時30分

●ギフチヨウ観察会

日時 4月8日（日）

午前9時～11時30分

（雨天実施）

・内容 ギフチヨウの生態を観察

・対象 小学生・家族・一般

・内容 ギフチヨウの生態を観察

（雨天実施）

日時 4月8日（日）

午前9時～11時30分

●ギフチヨウ観察会

日時 4月8日（日）

午前9時～11時30分

（雨天実施）

・内容 ギフチヨウの生態を観察

催し物だより
4月

陶史の森・
ネイチャーセンター
☎5144